

「大学体育スポーツ学研究」第22巻編集委員会

編集委員長	西田順一（近畿大学）				
編集副委員長	難波秀行（大阪大学）	園部 豊（帝京平成大学）			
編集幹事	木内敦詞（筑波大学）				
編集委員	梶田和宏*（京都先端科学大学）	小林雄志（九州工業大学）	佐藤 和（千葉工業大学）		
	霜鳥駿太*（帝京大学）	高田大輔（新潟医療福祉大学）	田原亮二（西南学院大学）		
	中田征克（防衛大学校）	西垣景太（東海大学）	平工志穂（東京女子大学）		
	藤野和樹（千葉商科大学）	山本浩二（関西福祉大学）			

【*編集幹事補佐】

論文を審査いただいた先生方（2024年投稿分） 心より御礼申し上げます。敬称略

石垣健二 石道峰典 大坪健太 勝亦陽一 金澤翔一 金田晃一 川戸湧也
醍醐笑部 林 容市 深田喜八郎 藤川和俊 藪中佑樹 山口裕貴

編集後記

「大学体育スポーツ学研究」第22巻には、「研究ノート」6編と「フォーラム報告」13編が掲載されました。うち、研究ノートには、授業場面や内容を同一とする論文はありません。特徴のある体育授業が行われ、様々な教育実践に伴う学生の学修成果等の科学的知見が揃いました。これらは、体育授業の実際の指導や種目設定等を検討する際に役立ち、ひいては大学体育の発展に寄与する貴重な資料です。引き続き、学修成果や有効な指導法等に焦点を当てた研究の蓄積が望まれます。

他方、ここ数年、体育会系学生の引き起こす様々な問題行動に社会の厳しい目が向けられています。スポーツ・インテグリティを脅かす要因としてわが国の大学スポーツが捉えられかねず、危惧しています。大学スポーツに携わる者は、長期間にわたり学生を教育し、成長を後押ししているにも関わらず、そのことにスポットが当たりにくくなっています。問題行動の様相や背景は多岐にわたり実態把握は簡単ではないですが、大学教育にかかわる立場として、問題行動を繰り返し生じさせないよう方々からの働きかけが必須と考えます。大学スポーツに関わる教育者、研究者として、学生に対してどのような教育を行い、どのような力を養成するかについての科学的知見を積極的に得て、社会に情報発信すべきと考えます。本誌は、「大学体育（正課教育）」と「大学スポーツ（正課外活動）」を両輪に据えていることから、今後は大学スポーツの研究論文の充実が強く望まれます。

さて、編集委員会では読者にとって有益な論文を早く届けることを念頭に、今回も本連合 HP にて早期公開し、その後、冊子体販売、J-STAGE 公開を進めました。今後も投稿したい雑誌として皆さまに選ばれるよう、引き続き「大学体育スポーツ学研究」の発展に向けた取組みを進めていきます。

末筆になりましたが、貴重な論考を寄せられた著者の皆様および投稿された論考を的確に審査し、質の向上へと導いていただいた査読者の先生方にまず御礼を申し上げます。同時に、本誌の発刊にあたり、種々の編集業務にご尽力された編集委員の貢献に御礼申し上げます。さらには、全国大学体育連合関係者のご理解やご支援により本誌が発刊されていることに、この場を借りて感謝申し上げます。（西田順一）

大学体育スポーツ学研究 第22巻

2025年3月発行

編集・発行 公益社団法人 全国大学体育連合

発行責任者 長谷山彰

本 部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目3番13号
第2天台ビル303号

TEL：(03) 3232-5738 FAX：(03) 3232-5872

<https://www.daitairen.or.jp>

印刷・製本 城島印刷株式会社

〒810-0012 福岡県福岡市中央区白金2-9-6

TEL：092-531-7102 FAX：092-524-4411

E-mail：eigyoun@kijima-p.co.jp